

The Japan Observatory at Milano Unica 2027AW

第 43 回 Milano Unica

- 開催期間：2026 年 7 月 7 日（火）～9 日（木）
- 会場：Rho Fieramilano (Hall 1, 3, 5, 7)
- 主催：Milano Unica Secretariat



第 25 回 The Japan Observatory at MU 2027AW

- 会場：Rho Fieramilano（ロー・フィエラミラノ）
- 出展社数：45 社（JOB：35 社、JOB NEXT：6 社、Outside JOB：4 社）
- JOB 展開面積：合計 744 m²（JOB：600 m² / JOB NEXT：54 m² / トレンド&インデックスコーナー：90 m²）
- Outside JOB 展開面積：312 m²
- 日本の総展開規模：1,056 m²
- 主催：一般社団法人 日本ファッション・ウィーク推進機構、独立行政法人 日本貿易振興機構（JETRO）
- 後援：経済産業省、日本繊維産業連盟

1 月に開催されたテキスタイルの世界的な見本市『第 42 回ミラノ・ユニカ』（MU）」は、出展者・来場者ともに大幅に増加し、高級テキスタイルおよび服飾資材分野における国際的リーダーとしての地位を着実に確立しています。次回ミラノ・ユニカ展は、7 月 7 日から 3 日間、イタリア・ミラノのロー・フィエラミラノで開催します。

日本からは日本ファッション・ウィーク推進機構（JFWO）、日本貿易振興機構（JETRO）主催の「The Japan Observatory」（JOB） at Milano Unica 2027AW が出展します。超円安環境が続く今、輸出に力を入れる企業は増加傾向にあり、JOB 展開面積も AW 展としては昨年に続き過去最大を更新しました。今回の JOB は、新規出展 7 社を迎え延べ 45 社で展開します。ジャパントレンドコーナーでは、前回展につづき、バーチャルリアリティーで日本の産地を体感・見学できる「産地フォーカス」疑似体験コーナーを設けます。

産地フォーカス 「和歌山ニット」 マネの出来ないモノ作りを VR(仮想現実)疑似体験

日本テキスタイル唯一無二のクオリティは、日本各地の地域特色を生かして独自に継承・発展してきた繊維産地の形成が基盤です。産地フォーカスはこうした日本の繊維産地の魅力を取り上げて世界に向けてプロモーションする企画です。

第一弾は、世界からも注目される日本の「デニム」、第2弾は尾州の「ウール」に焦点を当てました。今回は和歌山の「ニット」産地を紹介します。

近代和歌山ニットの始まりは、1900年代初頭に導入されたわずか5台のスイス製丸編み機。第二次世界大戦時、空襲からの戦禍をくぐり抜け古い機械が残ったことで、新旧の技術が共存する世界有数のニット産地へと発展しました。時流に沿った「和歌山ニット」のモノ作りは、世界のラグジュアリーブランドからも注目されています。今回の撮影では、ドローンによる美しい産地風景・迫力ある工場現場の映像に加え、生産現場からクリエイターがそれぞれの「ものづくり」への想いを語ります。



Photo: VR 体験 (2026 年 1 月開催)



Photo:和歌山ニット生産工場

JAPAN トрендコーナー 2027AW のトレンドコンセプトは “疑問？問いかけ”

激動ともいえる時代。横断しながら常に今を見つめ、何かを感じ取らずにはいられない。自分には全く理解できないことを知ろうとします。今回の施工プランのテーマは「発見」。疑問の先にある可能性、その先に誘うイメージで、空間を演出します。

◆ 2027 Autumn/Winter (4テーマ) :

- ◇ 静寂な風景 - Serene Scenery -
- ◇ 喜びの豊潤 - Joyful Abundance -
- ◇ アートな探求心 - Playful Quest via Art -
- ◇ 記憶の美学 - Traces of Memories -

Serene Scenery - 静寂な風景



Joyful Abundance - 喜びの豊潤



Playful Quest via Art - アートな探求心



Traces of Memories - 記憶の美学

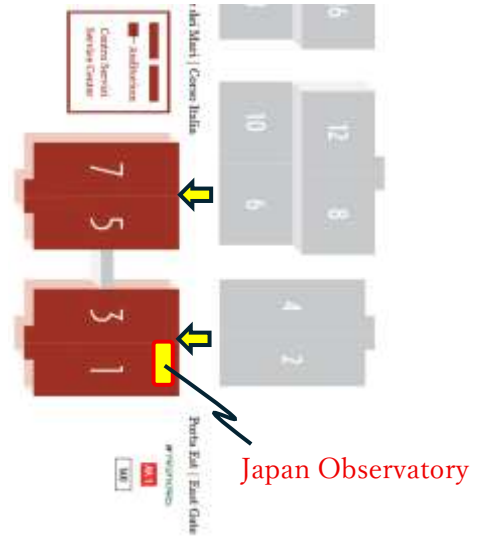


The color values are for reference only. The actual color may vary depending on the printing process and the color calibration of the device. © 2026 Japan Fashion Week Organization. All rights reserved.



●フロアマップ (Hall 1)

JOB B02/04/06 BISHU WOOL COLLECTION MIYUKI KEORI NAKADEN KEORI NAKATAKA KEORI SASAKI SELLM SUZUKEN WOOLLEN MILLS	JOB A02 TOKI SEN-I	JOB Trend & Index
JOB B08/10 TAKI SADA-NAGOYA	JOB B03 (JOB Next) UEYAMA TEXTILE MITSUMASA TEXTILE	
JOB B12 JAPAN BLUE	JOB A06 SPIBER	
	JOB B07 CHAMBRAY COSMO TEXTILE	JOB A07/09 A-GIRL'S-WAKAYAMA KMIT
	JOB A10 FUJISAKI TEXTILE	JOB A11 (JOB Next) MARUWA KMIT KONSHO-YONEZAWA
	JOB B11 CHIKUMA	



JOB B14/16 UNI TEXTILE	JOB B13 SUNWELL	JOB A13 TORAY INDUSTRIES
JOB B18 KONDO COTTON SPINNING	JOB A16 SOJITZ-VANCET	JOB A15 TORAY INTERNATIONAL
JOB B20 DAISHO TX	JOB B17 KUWAMURA	JOB A17 TORAY INDUSTRIES Ultrasonide Dept.
JOB B22 TAKIHYO	JOB A20 TEIJIN FRONTIER	JOB A19/21 ISHIKAWA FABRICS COLLECTIVE KAJIRENE MAEDA MARU OROMONO MITSUMI TEXTILES
JOB B24 (JOB Next) IRIS SLK FASTENING SYSTEMS	JOB A24 HATAOKA ANTS	JOB A23 HOKKOH with MINAMI HOKKOH MINAMI
	JOB B25 MARUSHIN	JOB A25 KAWAGOSHI MASA-SHIRO TEXTILE

MU hall plan

Hall 1: Shirt Avenue / Ideabiella /

Japan Observatory

Hall 3: Sustainability Trends Project /

Moda In Accessories / Innovation

Area / MarediModa / MU Info&Style /

MU Trade Press / Startup

Textile Connection / MU Vintage /

Korea Observatory / MU Press

Hall 5: Moda In Fabrics

(Tecno, Lace & Embroidery, and Silky

Print sections)

Hall 7: Moda In Fabrics

(Knit and Cotton & Woolly sections)

●出展者リスト

The JOB at Milano Unica 2027AW

<35社 ★新規出展5社>

株式会社 ANTS JAPAN★、宇仁繊維株式会社、株式会社エイガールズ、カジレーネ株式会社、川越政株式会社、桑村繊維株式会社、コスモテキスタイル株式会社、株式会社近藤紡績所、ササキセルム株式会社、株式会社サンウェル、株式会社ジャパンプルー -COLLECT、株式会社シャンプレー、鈴憲毛織株式会社★、Spiber 株式会社、双日ファッション株式会社、ダイショー-TX 株式会社★、瀧定名古屋株式会社、タキヒヨー株式会社、株式会社チクマ、帝人フロンティア株式会社、株式会社東紀繊維、東レインターナショナル株式会社、東レ株式会社 ウルトラスエード事業部、東レ株式会社 婦人・紳士衣料事業部、中隆毛織株式会社★、中伝毛織株式会社、畑岡株式会社/株式会社足羽工業所、広燃株式会社★、フジサキテキスタイル株式会社、北高株式会社、前多株式会社、丸井織物株式会社、株式会社丸進、ミナミ株式会社、御幸毛織株式会社、株式会社ムツミテキスタイル

The JOB Next by JETRO at Milano Unica 2027AW

<6社 ★新規出展1社>

株式会社アイリス、株式会社今正ファブリック、丸和ニット株式会社、三政テキスタイル株式会社- MAYFIS、株式会社サンファスニングシステムズ ★、株式会社植山テキスタイル

Outside The JOB at Milano Unica 2027AW

<4社 ★新規出展1社>

小間番号	出展者名
5. J24/J26/J28	デビス株式会社
5. H26/H28/H30	株式会社 GSI クレオス ★新規
5. C02/C04/C06	小松マテーレ株式会社
7. H23/H25/H27/H29	スタイレム瀧定大阪株式会社

JOB 初出展企業を紹介

●中隆毛織株式会社／企画・提案力を武器に

中隆毛織の「Paint-like stripe wool Raschel」は、国内でも希少な生産背景であるラッセル機で編んだウール100%のストライプ生地です。粗野でカジュアルな表情が生まれた一方で、ウール本来の柔らかさがあります。また加工によって光沢感とハリ感もあります。「Lamb wool panel ripple border」は、柔らかくて、嵩高性のあるラムウールのトップ原料を使用することで、しっかりした肉感と深みのある色合いが特徴の素材です。リップル組織にすることで表面感のあるジャガード生地になりました。

「Cotton/Wool/Linen Fulled Tumbled」も出品します。綿のムラ糸、紡毛ウール×麻の糸使い、さらに加工でタンブラーをかけ、生地に独特の表情感を出しました。得意な意匠素材、先染商品の企画、提案力を発揮します。



●鈴憲毛織株式会社／可能性を訴求

「尾州産地に根差したウール素材の可能性を、欧州マーケットへ向けて発信する」ことを出展目的にした鈴憲毛織産地の織り・整理加工技術を生かした軽さや膨らみ、独自のテクスチャー表現を持つ素材提案を行います。

今回出品する“ADAWOOL”は、“Advance”と“Wool”を掛け合わせた造語で、クラシックなウール素材を現代的に進化させるという思想から生まれたファブリックカテゴリーです。また、「APEXTILE」は、クラシックなウール素材をベースに、尾州の織り・整理加工技術によって現代的に再構築したファブリックシリーズです。有松絞りから着想を得たテクスチャーシリーズも提案。ウール素材に独自の凹凸感・陰影・立体感を与えています。不均一で奥行きのある表情を生み出しました。



●ダイショーTX 株式会社／カラーストック品を

ダイショーTX は、独創性と付加価値を創造することに重点を置いたファッションテキスタイルの企画・開発・販売を行う企業です。今回の MU には RWS（国際的な動物福祉と土地管理を重視したサステナブルの Responsible Wool Standard 認証）-WOOL カラーストックを出展します。また、ウール、コットン、キュプラ、ナイロン、ビスコースのカラーストック品も用意しています。さらにエンブroidリーやレース品のカラーストック品も出品する予定です。同社はカラーストック会社として世界最高峰の素材をストックしているのが特徴です。

「欧米市場への輸出によって販路を拡大する」のが MU 出展の目的です。また「MU にはハイメゾンブランドの来場もあると聞く。期待している」といいます。輸出に向けて商社の協力も得ているようです。



●広燃株式会社／サステナブル対応

広燃は、欧米市場での同社の知名度 UP、顧客の獲得、販売拡大を目的に出展します。欧米市場はサステナブル志向、小ロット短サイクルのトレンドが進むと見えています。MU についても欧州最高レベルの素材メーカーが集まる展示会と評価しています。

今回はマルチフィラメント糸を使用し、表の梨地面はドライ感、裏のサテン面はシルクのようなヌメリ感のあるドレーピーなバックサテン梨地素材を出品します。また、表の梨地面はシャリ感があり、裏のサテン面はヌメリ感のある中肉バックサテン梨地素材（サステナブル素材）も紹介します。ファインデニール糸を使用しコンパクト感、膨らみ感、コンフォートストレッチ感があり、シルクのようなきしみ感のあるサステナブル対応の中肉二重織素材も投入します。



●株式会社 ANTS JAPAN / 特殊紡績と連携

ANTS JAPAN の「Three Spun」は、トリアセ/ソアロンをベースに、ウール、テンセル、ポリエステルなどをスパンでMixしたオリジナルの紡績糸を使用しました。編みと織りで独特の光沢感とハリ感、ドライタッチ等を表現した商品です。「LUNACEL」は、セルロース系再生繊維にコラーゲンを組み合わせました。柔らかさ・落ち感・光沢・通気性をバランスよく持った高次元ハイブリッド素材です。今回はウールとの交織商品も開発し、秋冬展開もできる素材を出します。オリジナル特殊紡績糸にウールとの複合商品を開発し、秋冬でも使えるウォーム感のある麻、ラミー素材も出品します。

同社の強みは原料・紡績・織布・染整を国際的に最適化し、麻素材の可能性を拡張する総合的な開発力にあります。



●株式会社サンファスニングシステムズ/スナップボタン紹介

「当社商品は付加価値が高い。欧州の高級マーケットへ直接訴求できる MU は、提案の場として非常に魅力的」と話すサンファスニングシステムズ。今回投入するワンタッチプラスチックスナップは、薄型で使いやすく、豊富な色展開で、ユーザーのニーズに応える商品です。

Made in Japan の高品質プラスチックスナップボタンもあります。高品質、低コスト、錆びない、NKLFree、軽量などの特長を生かし、世界各国で使用されている商品です。ジッパーのパイオニア、である最も歴史のある会社の「TALON」や、亜鉛製の鑄造製法 teeth を一つずつテープに取り付けた、現在では再現が難しい幻のジッパー「CROWN」など、1940-1960 年代に製造された「本物の Vintage Zipper」の豊富な在庫を揃えています。



プレスリリースに関するお問い合わせ先：
一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構 (JFWO)

テキスタイル事業事務局

mu@japancreation.com

<https://www.jfwtextile.com>